

# 病害虫発生予察情報

## 令和元年度 病害虫発生予察情報(美濃地域) 9月予報

### 【 果樹 】

#### カメムシ類

岐阜・西濃地域では、予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数が8月以降多く推移しています。今後も果樹園への飛来に十分注意し、発生が認められたら防除を実施してください。

### 【 トマト 】

#### 灰色かび病

8月中旬の天候不順により、葉先枯れ部や花がら等に発生が認められました。今後、曇天が続くと、罹病部位から果実に感染が拡大すると予想されます。罹病部位や花がら、葉先枯れ部は伝染源となるため早めに取り除き、ほ場外へ持ち出してください。

### ○主な病害虫の発生時期及び防除時期（9月）

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
水 稲	生育(ハツシモ)	並	<穂ぞろい>						・8/13調査(6/10田植：農業技術センター)
	穂 いもち	やや少	<発生最盛期>						・ <u>穂いもち</u> 穂ばらみ期～穂ぞろい期に防除を実施する。
	トビイロウンカ	少							
	ツマグロヨコバイ	やや少	<第4世代幼虫>						・ <u>ツマグロヨコバイ</u> 幼虫最盛期に防除を実施する。
	斑点米カメムシ類	やや少	本 田 へ の 侵 入 ( 出 穂 以 降 )						・ <u>斑点米カメムシ類</u> 穂ぞろい期～乳熟期に防除を実施する。
	防 除 適 期		▲ ～ ▲穂いもち・斑点米カメムシ類・ツマグロヨコバイ						
大 豆	生育(フクユタカ)		<着莢>						・7/31調査(7/9は種：農業技術センター)
	カメムシ類	やや少	本 ぽ へ の 侵 入 ( 着 莢 期 以 降 )						・ <u>カメムシ類</u> 着莢期から子実肥大期に防除する。
	ハスモンヨトウ	並	< 発 生 量 増 加 >						・ <u>ハスモンヨトウ</u> 白変葉を認めたら直ちに防除する。
	防 除 適 期								
か き	ハマキムシ類	やや多			<第3世代成虫>		<第4世代幼虫>		・幼虫発生初期の防除を徹底する。
	防 除 適 期								・着色始期までに防除を実施する。
な し	黒 星 病	やや少	< 発 生 量 増 加 >						・ <u>黒星病</u> 収穫後の秋期防除を徹底する。
	防 除 適 期		▲黒星病 ～						
果 樹	カメムシ類	並	< 新 世 代 成 虫 >						・飛来が認められる場合は直ちに防除を実施する。
	防 除 適 期								
野 菜 ・ 花 き	灰 色 か び 病	やや多	< 発 生 量 増 加 >						・同一系統薬剤の連用は避ける(薬剤耐性および抵抗性の発達)。
	ハスモンヨトウ	並	< 発 生 量 増 加 >						
	タバコガ類	やや少	< 発 生 量 増 加 >						・ <u>灰色かび病</u> 花がらや葉先枯れは感染源となるため取り除く。
	アブラムシ類	少							・ <u>アブラムシ類</u> 苗からの持ち込みに注意する。
	コナジラミ類	やや少							・ <u>ハスモンヨトウ・タバコガ類</u> 若齢幼虫期の防除を徹底する。
	アザミウマ類	少							・ <u>コナジラミ・アザミウマ類</u> 施設栽培では虫媒性ウイルスへの感染防止のため、防虫ネット展張による侵入防止と定植時の粒剤施用を徹底する。
	防 除 適 期								

注1) ▲、▲～▲：防除適期

注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

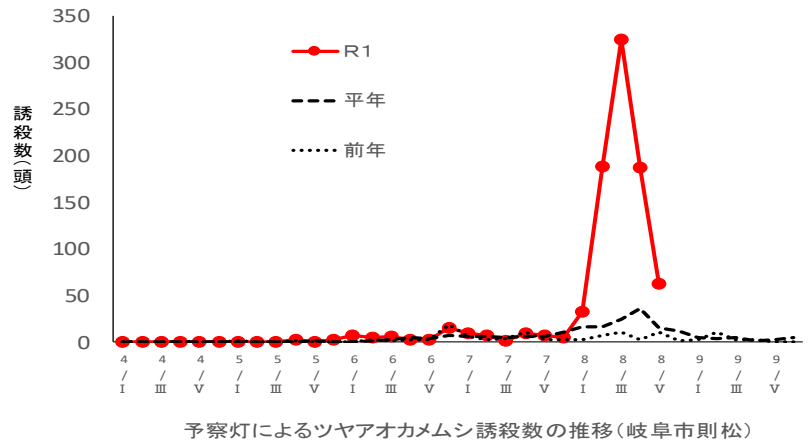
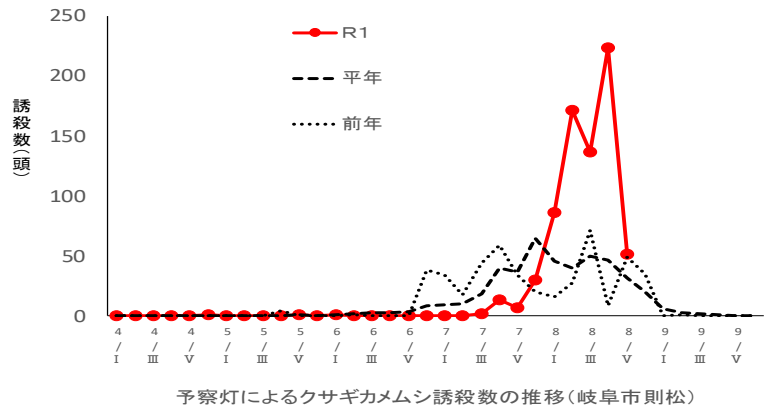
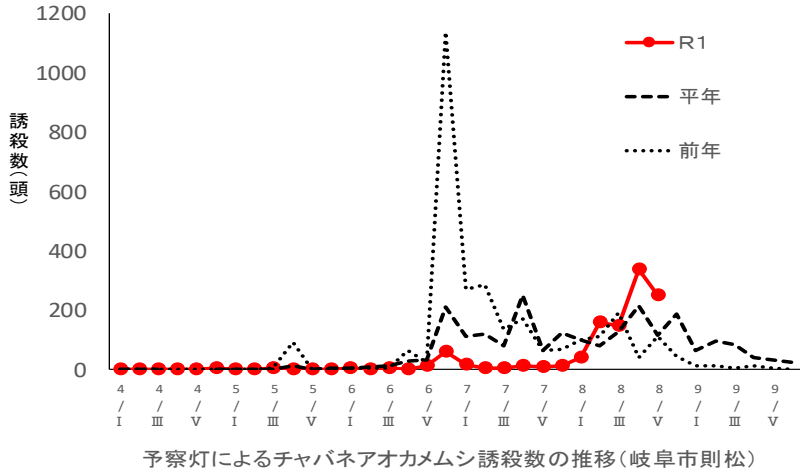
### カメムシ類

チャバネアオカメムシ成虫が果樹園に飛来する目安となるヒノキ毬果口針鞘数について、本年は飛来の目安となる1果あたり25本を超えている地点は認められていません。しかし、今後も高温傾向が続けば、現在、被害が認められていないほ場でも、飛来する可能性があるため防除を徹底してください(表1)。

表1 ヒノキ毬果口針鞘数 (本/果)

調査日	岐阜市 東秋沢	大野町 寺内	美濃市 曾代	美濃加茂市 山之上町
7/上	0.00	0.00	0.00	0.00
7/中	0.00	0.00	0.00	0.00
7/下	1.43	1.20	3.00	0.03
8/上	2.23	1.27	4.20	0.00
8/中	9.30	1.40	4.53	0.27
8/下	9.43	5.03	12.67	5.50

調査果数：1ヶ所あたり30果



### 灰色かび病 (夏秋トマト)

8月下旬の発病状況調査では、8月上旬の調査時より発生量が増加して、ゴーストスポットを含む発病果率は中濃地域で10.1% (平年 5.3%)、東濃地域で14.7% (平年 17.3%) と平年並〜多く推移しています(表2)。

本病は20℃前後の比較的低温で90%以上の高湿度が連続すると多発します。今後は、秋雨前線による長雨により発生が増加することが想定されます。

本病は花がらや葉先枯れ部などの枯死した部分に大量に胞子を形成するので、枯死部は早めに取り除くとともに、曇雨天が続く場合は、薬剤により防除を実施してください。

表2 トマト灰色かび病発生状況 (中濃および東濃地域)

調査地点	発病果率 (%)					
	8月上旬			8月下旬		
	発病果計	腐敗果計	ゴーストスポット果	発病果計	腐敗果計	ゴーストスポット果
中濃地域 郡上市				1.3	0	1.3
白川町	4.3	0	4.3	18.9	0	18.9
平均	4.3	0	4.3	10.1	0	10.1
東濃地域 中津川市①	10.7	0	10.7	23.0	0	23.0
中津川市②	0	0	0	0	0	0
恵那市	5.0	0.8	4.2	21.0	0	21.0
平均	5.2	0.3	5.0	14.7	0	14.7

### 農薬の安全使用に努めましょう！！

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

### 東海地方1カ月予報 (名古屋地方气象台 8月29日発表)

向こう1カ月の天候は、気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並の見込みです。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767